

# 大津市立皇子が丘保育園

日時：平成 23 年 11 月 22 日(火) 13:30～16:00  
平成 23 年 11 月 25 日(金) 9:00～17:00  
フィールド：皇子が丘公園

1 日目は講座、下見、プログラム作りを行います。2 日目は作成したプログラムを実践した後、ふりかえりを行いプログラムの完成度を高めます。

## 1 日目：「プログラムづくり」

皇子が丘保育園の近くには緑豊かな皇子が丘公園があります。今回は皇子が丘公園の自然を生かしたプログラムを作ります。

はじめに自然体験学習についての講義があり、幼児の自然体験の意義や目的、プログラム作成のポイントを学びます。続いて皇子が丘公園に出かけ、フィールドワークを行います。フィールドワークではプログラム作成に向けてのポイントなどのアドバイスを受け、実際に自然体験をしながら使えそうなものを探します。続いて、3 班に分かれグループごとにどのようなプログラムにするか考えます。ぜひ使いたい物、感じて欲しいことが決まれば、プログラムの構成を考えます。園に戻ってより良く自然を感じるための導入、プログラムの流れ、時間配分を決めてプログラムが完成です。



▲講義



▲使えそうなものを探す



▲いのししが掘った跡や大きな枝が見つかります



▲班で考察



▲プログラム作り

## 2 日目：「プログラムの実践」

2 日目はいよいよ作成したプログラムの実践です。3 班がそれぞれ作成したプログラムを実践します。

### 「いのししに変身！」のプログラム

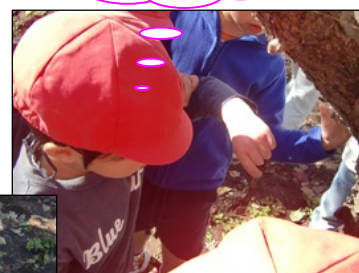
皇子が丘公園にはいのししのフィールドサインがたくさん残されています。本プログラムではいのししに変身し、走って・ジャンプして・木登りして・においを嗅いで・穴を掘ってミミズや虫といったごちそう探しをします。いのししになりきることでいのししの暮らしを知り、木や土の感触やにおいを体感し、土の中にも生き物が生きていることを知り、命の尊さを感じるプログラムです。

いのししが掘った穴です。  
何のために掘ったの…？  
どうやって掘ったの…？



いのししに変身だ！

みみず発見



ごちそうはあるかな???

### ポイントと次につながるヒント💡

- ・虫を見つけた場所を明確にし、見せ合う場を設けましょう
- ・土の中に虫をもどし、また元気に暮らしていくことを伝えましょう
- ・いのしし以外の動物でも他の生き物とのつながりを考えましょう

## 「ワクワク、ドキド木、ウツ木」のプログラム

公園には様々なかたちをした木や葉っぱや石があります。ゲー・チョコキ・パーに見立てられる石・枝・葉を探してじゃんけん。長い枝で背比べ。枝にもいろいろな形があること、いろいろな長さがあること、いろいろな色があること、いろいろな感触があることに気づくでしょう。公園の木にも様々な違いがあることに気づき、友だちにも違いがあることに気づく。そんな豊かな感性を培うプログラムです。

ゲー・チョコキ・パーの形をしたものあるかな？



誰の背が一番高いかな～

重すぎて持ち上がらないよう



▲長い枝で背比べ

### ポイントと次につながるヒント

- ・自分のお気に入りの枝を紹介してもらいましょう
- ・木、石、葉っぱ以外の自然物や人工物でもじゃんけんしてみましょう
- ・植物のタネをまいて、その生長を観察しましょう

## 「森のカレークッキング」のプログラム

葉っぱにもいろいろな色、形、におい、手触りがあります。「黄色い葉っぱ」「虫が食べた跡がある葉っぱ」などお題を出して、それに合う葉っぱを探します。いのししさんのために葉っぱを使ってカレーを作ります。カレー=いい匂い、ということで草の匂いも嗅いでみます。いのししさんが喜んでくれそうなカレーをイメージして作ります。いのししさん(他人)の気持ちを考え、自然にも感謝する、そんなプログラムです。

いのししさん喜んでくれるかな…



▲グループごとにカレー作り

いのししさんって、どんなカレーが好きなのかな…

みんな黄色い葉っぱ見つけれられたかな？



▲カレーの材料探し

### ポイントと次につながるヒント

- ・黄色い葉っぱにもいろいろな黄色があることを伝えましょう
- ・本当のカレー作りのようにかき混ぜたり、お皿に盛ったりしましょう
- ・おうちでもカレー作りのお手伝いをしてもらいましょう

## 研修に参加した先生の声

- 今までにない研修の形でとても学ぶべきことが多く、参加して本当に良かった。
- 実際に計画を立て、保育し、客観的に見ることで大切にしていることがよく見え、実感できた。
- 話を聞くだけの研修よりも自分で実際にやる中で良い経験になり、より身についたと思う。
- 自分の園に持ち帰って取り入れやすいものからやっていきたい。
- 道具を使わないで自然にあるものですぐにゲームができることが勉強できて良かった。
- プログラムを考えることが難しく、さらに実践することは大変でしたが、引き続き実践していきたいことや改善していくことが明確になった。
- いつも遊んでいるところでも、見方を変えるだけで何通りにも遊びが広がることがわかった。